

JRC 夏季リーダーシップ・トレーニング・センターを開催しました

青少年赤十字（JRC）の宿泊研修「夏季リーダーシップ・トレーニング・センター」が、8月13日から15日までの2泊3日の日程で、沖縄県立糸満青少年の家にて行われました。

この研修は、赤十字やJRCについて学びながら、集団生活を通じてリーダーとしての力を育てる目的としており、今回の研修には、県内の小学生・中学生・高校生総勢70名が参加しました。初めは少し緊張した様子も見られましたが、時間がたつにつれて打ち解け、協力しながら活動に取り組む姿が見られました。



参加者記念撮影



参加した生徒からは「学校の垣根を越えてみんなと一致団結できた」「リーダーとはなにかを考える機会になった」「トレセンで培った能力を学校で貢献できるようにしたい」などの感想が寄せられました。

トレセンの様子が『OTV LiveNews"イット"』と『RYUGIN GOOD NEWS』で紹介されました！

見逃した方も、もう一度見たい方も子どもたちの頑張りをぜひご覧ください。



▲OTV LiveNews"イット" ▲RYUGIN GOOD NEWS

沖縄県支部職員が日赤国際保健支援事業にて モンゴル国へ派遣されました

8月17日から23日までの1週間、沖縄県支部の山里総務係長がモンゴル赤十字社の「救急法指導員養成講習会」に派遣されました。

今回の派遣は、日本赤十字社の国際保健支援事業の一環として、現地での人材育成を支援することが目的です。

これまで日本赤十字社が培ってきた指導員育成のノウハウを共有しながら、モンゴルの地域性に合った効果的な指導方法を、現地スタッフと一緒に考え、支援しました。

モンゴル赤十字社のスタッフとともに、モンゴル国内での救急法普及の発展に貢献することを目指して尽力しています。



モンゴル赤十字社事務総長(右から3人目)、山里係長(同2人目)



9月は防災月間です～赤十字防災セミナーのご案内～



9月1日は「防災の日」。

9月1日を含む1週間は「防災週間」に定められ、(8月30日～9月5日)、9月は「防災月間」と位置づけられています。赤十字でも「防災・減災についていま一度再確認を！」と呼びかけています。

日本赤十字社では、平時より「いざ」という時の「備え」のための**「赤十字防災セミナー」**に力を入れています。そのセミナープログラムの一部をご紹介します。

ひなんじょたいけん（避難所運営ゲーム）

避難所運営をみんなで考えるためのアプローチとして、静岡県が作成したHUG（避難所運営ゲーム）を基に、日本赤十字社が許諾を受けて作成しました。専用のカード等を用いてグループワークを行います。

避難者の年齢、性別、国籍などそれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験していきます。



令和6年5月30日、豊見城市役所の職員を対象「ひなんじょたいけん」を行いました。

KAG（家具安全対策ゲーム）

自宅の部屋などの平面図などを作成し、大地震が起きた時に潜む危険な箇所を探すこと、家具のキケンなどに目を向けてもらい、自分の身を守る「自助」についての意識向上につなげるプログラムです。

家庭だけでなく、事業所内においても利用者や従業員等の安全対策について考え、そして「気づき」がついた平面図（ワークシート）を参加者に持ち帰っていただくことで、生活スペースでの防災・減災への行動につなげていきます。



令和6年10月6日、社会福祉法人の介護職員向けにKAG(家具安全対策ゲーム)を行いました。

ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！

災害時の危険（場所・行動）について伝え、自分の身を守るために基礎的な知識や判断力を身に付けてもらうため、4歳以上の子どもたちが学べるように赤十字が作成した教材です。

身近な学校、町の様子が描かれたイラストの中から、子どもたち自身で、危険な場所を探していきます。「この人あぶないよ！」「ぼくだったらこうするよ！」といった活発な意見が飛び交います。



令和6年9月12日、中原小学校にて2年生向けに防災教室を実施しました。

日本赤十字社沖縄県支部では、防災教育事業のほかにも「人間の命と健康、尊厳」を守るために活動に日々取り組んでいます。皆様からのご協力・ご支援を何卒お願いいたします。